

姫路市教育委員会会議録（令和5年7月20日）

- 日 時 令和5年7月20日（木）午後2時05分から
- 場 所 総合教育センター 大会議室
- 開 会（午後2時05分）
 - 日程第1 会議録署名委員の指名等
 - 日程第2 会期の決定
 - 日程第3 議事
 - 議案第19号 令和6年度使用 姫路市立学校用教科用図書の採択について
 - 日程第4 その他
- 出席者（委員）西田教育長、山下委員、森下委員、角谷委員、中野委員
（事務局）平田教育次長、村田教育総務部長、平山学校教育部長、
太田総合教育センター所長兼育成支援課長、中上総務課長、森学校指導課長
（書記）島田総務課係長、多田総務課主任

○ 議事の内容

教育長

- ただいまから臨時の教育委員会会議を開催いたします。
- 本日の出席者数は、定足数に達していますので、会議は成立いたしております。
- それでは、これより日程に入ります。
- 日程第1、本日の会議録署名委員の指名等を行います。
会議録署名委員は、姫路市教育委員会会議規則第13条第2項の規定により中野委員を指名します。

- 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。
本臨時会の会期は、本日限りとしたいと思います。
これに御異議ございませんか。

(委員)

[異議なしの声あり]

教育長

- 異議なしと認めます。よって提案のとおりといたします。

教育長

- それでは、日程第3、議事に入りたいと思います。
議案第19号 令和6年度使用姫路市立学校用教科用図書の採択について事務局からこの件について説明してください。

(事務局)

- (学校指導課長 説明)
令和6年度使用小学校教科書について説明をいたします。
これからの説明で、小学校は義務教育学校前期課程を、中学校は義務教育学校後期課程を含めております。

本年度、小学校用教科用図書は、採択替えの年にあたります。各委員様には事前に教科書見本をお届けし、内容について吟味していただきました。

本日は、「選定報告書」をもとに、選定委員会で協議・検討した内容を、選定委員会代表の学校教育部長が報告いたします。詳しい内容につきましては、「調査・研究報告書」を御覧ください。これらの資料を参考にして、種目ごとに1者を採択していただきますよう、お願いいたします。

教育長

- 説明があったように、選定委員会からの報告を順次受けます。各報告の後に審議を行い、種目ごとに1者を教育委員会の責任のもとに採択いたします。
国語の報告をお願いします。

(事務局)

- (学校教育部長 国語について説明)
国語は、東京書籍、教育出版、光村図書の3者を推薦いたします。
3者とも、年間の学習の道筋を示しており、見通しを持って学習に取り組める工夫がされています。いずれの教科書も文字の色遣いやデザイン上の工

夫がなされ、視覚的に支援できる手立てが講じられています。また、SDGs や情報リテラシー等の現代的諸課題の内容を含む題材を扱っております。

東京書籍は、単元最初のページに学習の見通しが掲載され、その単元で何を学び、どのような力をつけるのかがわかりやすくなっています。単元末には学習のポイントを図解やイラストで明示しています。また、教科書と連動したデジタルコンテンツが豊富に用意され、ICT によって学びを深めやすくなっています。

教育出版は、SDGs について考える教材が採用され、もくじではそれぞれのSDGs ターゲットが示されています。また、児童に身につけさせたい力が特別な支援を要する児童にも理解しやすい形で表現され、教材と学びの要点を記号によってわかりやすい形で結びつけてあります。すべての学年が上下分冊化されており、重量への配慮があります。

光村図書は、視覚的に学びの見通しが提示されており、学びの連続性の意識や、定着に向けた工夫がなされています。文学的で古くから親しまれている教材や、現代的テーマを持ち、児童に深く考えさせる教材など、多岐にわたる教材が掲載されています。また、脚注や巻末に QR コードが配置され、単元の学習の中で効果的に音声教材や動画、文例を確認することができます。

教育長

○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(問)

国語と書写、社会と地図の教科書は、双方が同じ発行者の方が先生は教えやすいですか。そのため、セットで選ぶ方がいいですか。それとも、科目毎で選んだ方がいいですか。

(答)

選定委員会、調査委員会は、学校現場の先生でメンバー構成されておりますが、その方々から、例えば国語と書写、社会と地図がセットでなければいけないという意見はありませんし、これまでの採択におきまして、そういった形で配慮はなく、それぞれの内容で採択をしていただければと思います。

(意見)

QR コードがたくさんあり、動画で漢字の書き順が見られるようになっています。しかし、QR コードをたくさん使えばいいものではなく、効果的な場合、さらなる発展が期待できる場合や自宅学習が進む場合に使ってほしいと思います。無理やり QR コードの数を増やす必要はないと思います。

(問)

1年生上の教科書において、絵だけが数ページ続く場所があります。こういった場合、先生はどういった授業の進め方をされますか。

(答)

それぞれ教科書に沿って教師が様々な手立てを行っていきます。文字が載っていない場合につきましては、1年生で新しい学びを迎える観点からもイラストを使いながらどんな言葉があてはまるかといった発問をし、特に1年生の最

初はワクワクさせながら、学習を深めていくといった手立てや指導法が多いかと考えます。

(意見) 挿絵、写真についてですが、分冊にしたから軽い重いといった話がありますが、これだけの絵が必要か疑問です。もう少し写真や絵が少なくてもいいと思います。

(問) 課題として掲載する必要がある物語は、文部科学省でも選定されているかと思えます。例えば、スイミーが2年生で載っている教科書があれば1年生で載っている教科書もあります。特定の学年ではなく、6年間の中で掲載されていればよいという考え方ですか。

(答) その通りでございます。学習指導要領でどのような学びをするかは統一して決まっていますが、単元やどのような教材を配置するかは、それぞれ出版社によって学年が異なることはあります。

(問) 絵のページについてですが、授業として成立させるためポイント等はありませんか。

(答) 指導方法は子供の実態に応じて、それぞれの学級担任が決めていきますが、イラスト等におきましては、特に1年生の導入部分で想像したり、情景を浮かべることにより、どのような言葉が出てくるかといった指導方法が多いかと思えます。

(意見) 子供の自由な発想に着目して、一人一人の子供の感じたことを拾うことは、スタートカリキュラムに繋がるかと思えますので、冊子の枚数や分量的なことは調整が必要かと思えますが、そのような思いで授業をされているのであれば、絵の部分は子供達にとって意味があるかと思えます。

教育長 ○ 他に御意見はございませんか。それでは、採決をいたします。

[委員挙手]

[採決結果：東京書籍2名、教育出版0名、光村図書3名]

教育長 ○ 光村図書が、3名で過半数となりましたので、国語は光村図書を採択いたします。

教育長 ○ 次に、書写の採択を行います。説明をお願いします。

(事務局) ○ (学校教育部長 書写について説明)

書写は、東京書籍、教育出版、光村図書の3者を推薦いたします。

3者とも、姫路市の書写教育でねらう「硬筆に生かすための毛筆指導」、

そして「書写の日常化」の観点から指導しやすい教科書です。また、筆圧の指導やユニバーサルデザインに配慮された構成となっております。

東京書籍は、硬筆で課題を持ち、毛筆で原理原則を確かめ、普段使っている硬筆に生かすという、姫路市のねらう書写教育の流れに沿った教科書になっています。また巻末には既習の書写の原理原則が系統的にまとめられており、学びの積み上げを確認することができます。デジタルコンテンツが活用しやすく、様々な筆記具を活用して取り組む学習活動も多く取り入れられております。

教育出版は、学習のめあて、振り返りがはっきりと明記されており、毛筆学習で発見したことを硬筆に生かす学習の流れとなっております。「ここが大切」という形で書写の原理原則がまとめられており、学習への見通しがわかりやすくなっています。また、どの学年も、他教科との関連や「書写の日常化」に対応した学習活動が豊富に掲載されています。

光村図書は、整った文字を書くための決まりを見つける工夫として、書写の原理原則が「たいせつ」としてまとめられています。また、親しみやすいイラストやキャラクターを活用し、主体的に学習できるよう、工夫されています。加えて、他教科との関連を持たせた学習活動が多く掲載されており「書写の日常化」を意識しやすくなっています。

教育長

○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(問)

2次元コードから動画で書き順、筆の払い、力を入れるポイント等が工夫されていますが、書写の勉強においては、本か2次元コードのどちらに重点が置かれていますか。

(答)

学校現場、授業時間におきましては、書くことが主になってきます。デジタルコンテンツがあることにより、家庭で見たり教員による指導がない場合でも自学をすることが出来ますが、書写の教科の性質上、書くことを重視しています。

(問)

授業中は、2次元コードの活用はせず、先生が見本を書いて、あくまで生徒が予習復習をする範囲で2次元コードを使用しますか。

(答)

これまでは、そういった形が多いと思います。授業の導入部分においては、興味を湧かせるためにQRコードを使ったり、家庭学習で使う場面はあると思います。

(問)

教えられる時に、枠の中に綺麗に書くのはもちろん基本かと思いますが、出来上がった時の字のバランスまでの説明は難しいと思います。それについて触れている教科書がありました。そういった点は重視されていますか。

- (答) 書写の原理原則といった言葉を使って、どのように払えばよいかといったことを重視しております。例えば東京書籍においては、巻末に1年生では曲がり方や結びの書き方、6年生ではバランスや大きさ、字間・行間の書き方が掲載されており、なかなか国語では学べない内容の指導を書写では行っています。
- (意見) 習っている時に字のバランスを知ることが必要かと思っておりますので、巻末ではなく、中の一つ一つで触れていくことがもう少し多い方がよいと思っております。
- (意見) 教育出版では筆圧や筆の送り等がイラストで掲載されているため、専門的に毛筆を習っていない先生でも指導しやすいと思っております。
- (意見) 押さえ、はねの後に形を見るため、一つのページに字が多く書いてある方が手本になり、使いやすいと思っております。
- 教育長 ○ 他に御意見はございませんか。それでは、採決をいたします。
- 〔 委員挙手 〕
- 〔採決結果：東京書籍1名、教育出版4名、光村図書0名〕
- 教育長 ○ 教育出版が、4名で過半数となりましたので、書写は教育出版を採択いたします。
- 教育長 ○ 次に、社会の採決を行います。説明をお願いします。
- (事務局) ○ (学校教育部長 社会について説明)
- 社会は、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3者を推薦いたします。
- 3者とも、問題解決的な学習が展開できるよう構成されております。各単元には、QRコードが掲載されており、学習を進める中で、様々なデジタルコンテンツが活用できるようになっております。また、同和問題や現代的諸課題等の内容も扱っております。
- 東京書籍は、「つかむ・調べる・まとめる・いかす・ひろげる」という問題解決的な学習の流れで構成されております。また、キャラクターの手引きにより、児童が社会的な見方・考え方を働かせながら学習を進めることができるようになっております。5・6年生については2冊に分けられており、軽量化が図られております
- 教育出版は、紙面左端に「社会科の学習の進め方」の該当する段階が明示されており、児童が見通しを持って問題解決的な学習を進めることができるようになっております。また、見開きページごとに「次につなげよう」というコーナーがあり、児童が思考を途切れさせることなく連続して学習できるようになっております。
- 日本文教出版は、3年生では、4つの大単元のうち2つにおいて姫路市が

事例地として取り上げられており、身近な事例をもとに児童が主体的に学習を進め、概念を自分事として捉えやすい構成となっております。また、単元の学習後に SDGs の内容を取り上げる等、身近な地域から現代的諸課題について考えることができるように構成されております。

教育長

○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(問)

社会の教科書は3者が選定されていますが、文部科学省の検定に合格した教科書は何者ありますか。

(答)

3者です。

(意見)

社会や理科は知識を付けることも大切ですが、地理や歴史に興味を持つことがより重要かと思えます。そのため、日本文教出版では姫路市が取り上げられており、取っつきやすいかと思えます。

(意見)

3年生は、生活科から社会科に初めて出会う学年のため、姫路市のことがたくさん事例として掲載されていれば、興味や関心を持って主体的な学びにつながるかと思えます。

教育長

○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。

[委員挙手]

[採決結果：東京書籍1名、教育出版0名、日本文教出版4名]

教育長

○ 日本文教出版が4名で過半数のため、社会は日本文教出版を採択いたします。

教育長

○ 次に、地図の採択を行います。説明をお願いします。

(事務局)

○ (学校教育部長 地図について説明)

地図は、東京書籍、帝国書院の2者を推薦いたします。

2者とも、4年間の地図活用に対応するため、ページ数や見やすさ、耐久性を考慮するとともに、中学校の学習とのつながりにも配慮した構成となっております。

東京書籍は、列島地図の各地方のページには、関連地域の自然や歴史、伝統・文化等に関するイラストが掲載され、視覚的に理解しやすい構成となっております。また、キャラクターの吹き出し等により、児童の思考を促す問いが掲載されており、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫しております。

帝国書院は、列島地図の各地方のページに産業や歴史の内容を盛り込むと

ともに、SDGsの内容を特集したページを掲載しており、地図学習と併用して他の教科等と関連した内容を学べる構成となっております。また、各ページの内容に関するクイズを出題した「地図マスターへの道」が掲載され、児童の興味・関心を高め、思考を促すよう工夫しております。

教育長

○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(問)

2者とも地図に載っているイラストが多すぎると思います。イラストの下に本来書かれていた内容が気になります。想像したり調べたりする前にイラストで思考が固定されてしまい、先に進まないのがもったいないと思います。

また、近畿の括りが非常に難しく、文部科学省で地図に載せられるところが決められているのは分かりますが、副次的に私達が住んでいる近畿を理解してもらうためには、これとは別に、近畿の考え方や過去の文化的流れや経済流通の流れなど様々な由来を理解できるような地図の使い方が必要かと思います。

帝国書院の地図は詳しく書かれていますが、文字が平体になっています。子供達は地図帳以外で平体の文字を見る機会はありますか。子供達に馴染みますか。

(答)

調査委員会では話題になりませんでした。それぞれの発行者に趣意書があり、ユニバーサルデザインに配慮したレイアウト、文字、フォント、大きさを意識しております。学校現場での経験で、字体で困ったことや混乱が生じたことはありません。

(意見)

東京書籍において、日本の歴史と世界の関わりがあり、日本の歴史の年表の中に世界の様子が掲載され、一目で分かりやすいと感じました。

(意見)

東京書籍において、日本地図の中に姫路市が載っており、日本の中の姫路市の位置を認識できるのは良いと思います。

教育長

○ 他に御意見等はございませんか。それでは採決をいたします。

[委員挙手]

[採決結果：東京書籍3名、帝国書院2名]

教育長

○ 東京書籍が3名で過半数のため、地図は東京書籍を採択いたします。

教育長

○ 次に、算数の採択を行います。説明をお願いします。

(事務局)

○ (学校教育部長 算数について説明)

算数は、東京書籍、啓林館、日本文教出版の3者を推薦いたします。

3者とも、「主体的・対話的で深い学び」ができるよう問題発見・問題解決

の過程が充実しております。また各單元には、QRコードが掲載されており、学習を進める際に、様々なデジタルコンテンツが活用できるようになっております。

東京書籍は、学びのつながりを意識しやすく、算数を系統的に学ぶことができるように構成されております。また、学習動機を創出するオープニングムービーや、自動採点機能のある練習問題等デジタルコンテンツが充実しております。1～4年生に加え、5年生についても2冊に分けられており、軽量化が図られております。

啓林館は、主たる問題のすべてで解説動画が視聴できる等、個別最適な学びにつながるデジタルコンテンツの数が多く、充実しております。また、各学年の巻頭に「考えの進め方」というページが設定され、主体的、協働的に学習を展開できる工夫が見られます。補充的な学習の場面が多く取り入れられ、基礎的な能力の習熟が図られております。

日本文教出版は、学習の流れが人物や吹き出しを使って丁寧に掲載されていたり、「めあて」「まとめ」が明示されていたりする等、「主体的・対話的で深い学び」の実現を意識したつくりになっております。また、単元末に「まちがいやすい問題」のページが設定されており、学習内容の定着を図る工夫が図られております。

教育長

○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(意見)

4年生で大きな数を学びます。日本では漢数字で書く場合4桁ずつになりますが、海外では数が多くなると3桁毎にカンマで区切って表すこととなります。3桁毎に書くこともあるとの記載はありますが、世界的には3桁のため、将来のためにも、そのことが分かりやすいように書いていただきたいと思えます。

3者とも分かりやすく書かれていますが、10のまとまりを説明する時に、色紙を10枚で1セットと10円玉を使ってとの記載があります。10円玉を使ったほうが理解しやすいと思えます。

(問)

啓林館の中で主たる問題の全てで解説動画が視聴できるとありますが、デジタルコンテンツに主たる単元の説明があると考えていいですか。

(答)

啓林館の特徴でもありますデジタルコンテンツですが、全ての単元でスマートレクチャーがあるため、欠席した場合でも学びを深めることができます。

(問)

極端に言えば、不登校気味で授業に出られない子供でも端末を持ち帰っていれば、解説動画を見ながら学習をすることができますか。

(答)

そういった活用もできると思えます。

(問)

東京書籍の自動採点機能は、練習問題において自動で点数が出ますか。

レビを録画して見せていたと思います。デジタルコンテンツが出始めている中において、先生は実際に触ることはもちろんだが、コンテンツを見せるときに教育テレビを含めて、独自の物を別に副次的に活用されるのか、授業と連動しデジタルコンテンツを使われるのか、どちらが多いですか。

(答) 理科は体験的なことが必要かと思います。例えば高学年を例にとりますと、天体や月の動きを勉強する場合においては、実体験ができませんので、そういった場合にデジタルコンテンツで実際の月の動きを映像で見せて指導することがございます。草花につきましては、自分達で育てる事などを重視しておりますが、草花がどのように成長するかは、デジタルコンテンツを活用し、両者を併用しているのが現状でございます。

(意見) 併用する場合には、教科書のデジタルコンテンツを活用されているのか、全く別の物を用意されているのか、どちらですか。

(答) これまでは、NHK for school を活用することは多くありましたが、今回の教科書の改訂によりまして、デジタルコンテンツが充実しておりますので、今後は教科書のデジタルコンテンツを大いに活用していくかと思っております。

(意見) 啓林館の6年生の教科書において、単元末にくらしとリンクがあり、身近な実生活で学習した内容との繋がりを持てるようになっていきます。勉強だけではなく、実際のくらしに戻って学ぶことができるため非常に良いと感じました。

教育長 ○ 他に御意見等はありませんか。それでは採決をいたします。

[委員挙手]

[採決結果：東京書籍0名、教育出版0名、啓林館5名]

教育長 ○ 全員が啓林館のため、理科は啓林館を採択いたします。

教育長 ○ 教科書の入れ替えを行いますので、会議はしばらく休憩します。

(休 憩) 15 : 15～15 : 20

教育長 ○ 審議を再開します。次に、生活の採択を行います。説明をお願いします。

(事務局) ○ (学校教育部長 生活について説明)

生活は、東京書籍、光村図書、啓林館の3者を推薦いたします。

3者とも、円滑に生活科の学びを始めることができるよう、スタートカリキュラムを意識した内容で構成されております。各単元には、随所にQRコードが掲載されており、学習を進める中で、様々なデジタルコンテンツが活

用できるようになっております。

東京書籍は、活動ごとにめあてや問いが明示され、学びのヒントが随所に掲載された構成となっております。活動場面、ワークシート、作成物等が具体的に例示され、教員にとっても指導内容をイメージしやすくなっております。上巻の冒頭には幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と、小学校の学びとのつながりを具体的に示しております。

光村図書は、活動ごとに「問い・活動・振り返り」で構成され、振り返りの際の視点を明示し、学びを深めることができるようになっております。巻末資料が、切り離し可能な冊子となっており、活動や制作の説明が掲載されております。また、「保護者の皆様へ」という項目が随所に掲載され、学びの目的や意図を保護者と共有できるよう構成しております。

啓林館は、単元ごとに「わくわく・いきいき・どンドン」の3段階の活動の流れを紙面左上に掲載し、学習を進める際に単元全体が見通しやすくなっております。上巻冒頭のスタートカリキュラムと対になるように、下巻末尾に「3年生へのステップブック」が掲載されており、幼少期から中学年へのつながりを意識した構成となっております。

教育長

○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。

(問)

スタートカリキュラムにより、幼児期と1年生との繋がりが重視されています。子供達の大半が保育所、こども園、幼稚園に通っていますが、生活を教えるときに、この経験を踏まえて、指導の中に生かされていますか。

(答)

本市としましても、スタートカリキュラムは非常に重要視しております。また、様々な保育所園より、様々な学びをした子供達が学校に入学してまいりますので、保・幼・小の連携カリキュラムを作成しております。加えて、生活科に限ったことではありませんが、子供達が入学する前に小学校と保育所園が子供の実態を共有する場を設けながら学習を進めております。

(意見)

生活科は日々のくらしの延長線上にあたります。子供達はたくさん経験を積んでいます。教科書においては、1年生から生活を勉強するものと、これまでの経験を生かしたものがありますが、小学校までの繋がりがあある教科書の方が良いと思います。

(問)

光村図書には、各項目に保護者の皆様へといった項目がありますが、実際に保護者の方は教科書を逐一見ながら関わっていくのですか。

(答)

実際はそれぞれ学校で学んだことが中心になっていきますが、学習活動を円滑に進めるためには、家庭の協力は欠かせないものとなっております。そのため、こういった形で発信をいたしまして、中にはお忙しい家庭もありますので、これを宿題にするのではなく、子供との会話のひとつにしていだいたり、家

庭での学びのひとつとしていただく形になります。現時点では強制ではなく啓発の捉え方になります。

(意見) あくまでも子供のための教科書であるため、保護者向けの別の小冊子があったほうがいいのかと思います。

(問) 教科書に使う文字のフォントには、規定はありますか。

(答) 特に規定はありませんが、それぞれの趣意書にはフォントに配慮しているとの記載がありますので、発行者により精査し、いろいろな意見を聞きながら作成していると思います。

教育長 ○ 他に御意見等がございますか。それでは、採決をいたします。

[委員挙手]

[採決結果：東京書籍2名、光村図書0名、啓林館3名]

教育長 ○ 啓林館が3名で過半数となりましたので、生活は啓林館を採択いたします。

教育長 ○ 次に、音楽の採択を行います。説明をお願いします。

(事務局) ○ (学校教育部長 音楽について説明)

音楽は、教育出版、教育芸術社の2者を推薦いたします。

2者とも、QRコードが掲載され、デジタルコンテンツを利用することができます。また、現代的な課題に対応した内容として、教育芸術社では、著作権、教育出版では、SDGsを取り上げており、「持続可能な社会の実現」にむけて、主体的に学び行動できるようになっています。

教育出版は、歌唱教材、特に共通教材でインパクトのある大きな写真が使用されており、曲の表す情景をイメージしやすくなっています。また、学習の進め方のヒントが示され、児童が見通しを持って主体的に取り組むことができます。さらに、見開きごとに共通事項が「音楽のもと」の言葉で表記しており、「音楽的な見方・考え方」を働かせ、表現を深めることができます。

教育芸術社は、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の4領域の組み合わせがバランスよく、各領域をつないだ学習を進めることができるため、学びが深まりやすくなっています。「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」のアイコンで学習のヒントが示されており、児童が学習の見通しを持ちやすく、また、音楽専科教員だけでなく、学級担任が音楽を担当する際でも指導の手立てとなります。

教育長 ○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。

- 教育長
- 特に御意見もないようなので、採決をいたします。
- 〔 委員挙手 〕
- 〔採決結果：教育出版2名、教育芸術社3名〕
- 教育長
- 教育芸術社が3名で過半数となりましたので、音楽は教育芸術社を採択いたします。
- 教育長
- 次に、図画工作の採択を行います。説明をお願いします。
- (事務局)
- (学校教育部長 図画工作について説明)
- 図画工作は、開隆堂、日本文教出版の2者を推薦いたします。
- 2者とも、児童の発達段階に合わせた題材配列となっております。また、幼児教育や中学校との接続に配慮し、系統性を意識した構成となっております。SDGs や防災の内容を扱うとともに、題材ごとにQRコードが掲載されており、様々なデジタルコンテンツが活用できるようとなっております。
- 開隆堂は、単元ごとの情報量が多く、また掲載されている児童の作品には、制作する際の思い等が本人の言葉で表記されています。学習活動の様子の写真が多く、また大きく掲載されているため、児童が学習活動に見通しをもちやすくなっております。巻末に、必要な用具・材料に関する基本的な知識や技能のページがあります。その中で、一人一台端末も用具の1つとして掲載されており、ICT 端末の積極的な活用が期待できます。工作の題材を多く入れていることも、開隆堂の教科書の特徴であります。
- 日本文教出版は、学習活動の様子の写真には、多くの吹き出しが付けられ、また用具の使い方がくわしく説明されているため、それぞれの学習活動における工夫の視点が捉えやすくなっております。巻末には、ICT の活用例が取り上げており、ICT 端末の積極的な活用が期待できます。「つながる学び」として、他の教科等とのつながりやSDGs とのつながりが記載され、探究的な学びへのきっかけになります。鑑賞の題材が多いことも、日本文教出版の教科書の特徴であります。
- 教育長
- 各委員は、御意見、御質問をお願いします。
- (意見)
- 2者とも2次元コードが使用されており、それぞれ長所短所があります。開隆堂の2次元コードから見るコンテンツの出だしが1年生から6年生まで同じであるのが気になりました。5年生6年生のコンテンツはもっと実質的な内容にするなど、学年により変える必要があると思います。
- (問)
- 図画工作で、子供達が色水やセロハンテープを初めて使う割合はどれぐらいですか。

(答) 選定委員会でそういった意見はなかったため、私自身の経験になりますが、学びの中で様々な道具を使ったりしますので、正確な割合までは分かりませんが、子供達は好奇心を持って臨んでいます。

(意見) ナイロン袋、折り紙、色水は、1年生で初めて使う割合は少ないと思います。両者ともとても綺麗な見せ方をされていますが、そういった経験を踏まえての構成が必要かと思います。スタートで学び直しになると、遊びの中で経験してきたことが、勉強の中で再度行うことになるかと思います。

(問) 日本文教出版の巻末にアートカードが付いていますが、具体的にどのような形で授業で活用しますか。

(答) アートカードは、美術作品が印刷されたカードになります。活用方法につきましては、複数のカードから似ている作品を見つけたり、カードを使って自身で物語を作ったり、創意工夫し使う形になります。姫路市の造形教育の研修においてもアートカードの活用について研修しております。

教育長 ○ 他に御意見はございませんか。それでは、採決をいたします。

[委員挙手]

[採決結果：開隆堂0名、日本文教出版5名]

教育長 ○ 5名全員が日本文教出版なので、図画工作は日本文教出版を採択いたします。

教育長 ○ 次に、家庭科の採択を行います。説明をお願いします。

(事務局) ○ (学校教育部長 家庭科について説明)

家庭科は、東京書籍、開隆堂の2者を推薦いたします。

2者とも、家庭を学校で学ぶ意義から始まり、学習の進め方や教科書の使い方が巻頭に掲載されております。また、「家族・家庭生活」、「衣食住の生活」、「消費生活・環境」の3つの領域の内容を網羅し、実践的・体験的活動を通して、家庭での取組を促す構成となっております。また、伝統的な生活文化やSDGs、防災教育等の様々な教育課題についてもマークをつけてわかりやすくする工夫も見られます。さらには、児童が主体的に学べるよう、QRコードで、学習内容と関連した多様な写真や動画等のデジタルコンテンツ、Webサイトを使用できるようになっております。

東京書籍は、「衣食住の生活」を扱う領域において、現代の生活に合わせて「作りたい」「使いたい」という児童の実習意欲を高める例が提示され、日々の生活で取り組みやすくなっております。また、題材の情報量も豊富で、発展的、応用的な思考へつながりやすい構成となっております。

開隆堂は、学習の流れが一目でわかる工夫がなされ、活動の見通しを持ちやすい構成になっております。また、各ページの下部に豆知識として用語の説明をつける等、学習の基礎・基本が習得しやすい構成になっております。キャリア教育、消費者教育につながる内容についても掲載量が多くなっております。

教育長

○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。

(意見)

両者とも買い物について考える項目があり、収入支出のバランスを考えて、お金を使いましょうとの記載がありますが、収入より支出が多い場合には、どうなるかといった記載はありません。支出が多い場合には、具体的にどう困るかといった内容の記載があるほうが良いと思います。

紙質について、開隆堂はザラザラで、東京書籍はツルツルで手触りが良かったです。

(問)

買い物の内容でベースになるのは現金になりますが、キャッシュレスや後払いについても教育はされていますか。

(答)

消費者教育で、お金の使い方は大切であることは各学校で指導しています。生活に必要となり得るお金の収入は、家族が働いて得られるため大切であると伝えていきます。

(問)

物の売買、購入の際に現金で買う場合とクレジット払いや〇〇ペイなどの方法があります。実際の生活でそういったお金の支払い方法に触れているため、そういったことも並行して教えられていますか。

(答)

それぞれの教科書において、インターネットでの買い物の学びや様々な支払い方法、カード、商品券についての記載がありますので、各学校でお金の使い方等を指導しております。

(問)

後払いが問題となることもありますが、そういった知識は小学生にはまだ早いとの考え方ですか。

(答)

まず、教科書に記載されてる内容を教えており、もう一步踏み込んだ内容を全ての学校で教えている現状ではありません。

(問)

各項目は、前から順番に教えていきますか。それとも状況により異なる順番で教えていきますか。

(答)

家庭科におきましては、姫路市の多くの学校においては専科の教員が担当しており、週2時間程度の時間数の中で、季節や気候に合わせて、前から順番で

はなく、工夫して授業を行っております。

(意見) 東京書籍は、インターネットでの危険性に触れており良いと思います。また、インターネットに情報が出た場合、自身にも危険がおよぶことも併せて記載があればなお良いと思います。

(問) 家庭科の中に防犯や防災をどれくらい組み込むかについての指針はありますか。

(答) 家庭科は、家庭だけの勉強ではなく、インターネット等の生活を取り巻く環境が大きく変化しておりますので、そういったことに対応する力を育てていくことも必要になってくるか思います。また、そういった力は家庭科だけではなく、道徳で情報モラルを勉強したりといった形で教科横断的に指導していく必要はあるかと思えます。

(補足) 各教科には教科書がありますが、例えば消費者教育、環境教育、情報教育などの現代の課題に対応した教育には教科書がありません。そのため、総合的な学習の時間でそれらに関連する道徳の情報モラルやプログラミング等については、各学校で消費者教育を中心としながら授業を行っております。

教育長 ○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。

[委員挙手]

[採決結果：東京書籍 2 名、開隆堂 3 名]

教育長 ○ 開隆堂が 3 名で過半数のため、家庭科は開隆堂を採択いたします。

教育長 ○ 次に、保健の採択を行います。報告をお願いします。

(事務局) ○ (学校教育部長 保健について説明)

保健は、大修館書店、光文書院、学研の 3 者を推薦いたします。

3 者とも、課題を設定し、調べたり話し合ったりしながら課題を解決し、自分の生活に生かしていくという一連の流れで構成されております。また、QR コードを読み取ると、動画やウェブサイトなどのいろいろなコンテンツを視聴でき、ICT 端末を有効に活用しながら学習を進めていくことができます。

大修館書店は、児童の身の回りのことやこれまでの経験を思い出させながら課題をつかむ構成になっており、児童が自分ごととして学習に取り組むことができます。3・4 年及び 5・6 年の 2 冊全 122 ページのうち、約 27%にあたる 33 ページを「もっと学びを広げよう！深めよう！」と題し、今日の課題資料が豊富に掲載されております。そのことで、児童が探究的に学んでいけるよう工夫されております。

光文書院は、資料の比較やグラフの読み取りから課題をつかむ構成になっており、児童が自分なりの問いを持って学習に取り組むことができます。フィギュアスケートの紀平選手ら5名の著名人に「私と健康」というテーマでインタビューした内容が掲載されており、児童が健康の大切さとともに、保健の学習に取り組む意義を感じるよう工夫されております。

学研は、写真や挿絵から課題をつかむ構成になっており、児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができます。1時間の学習が4ページで完結しており、学習の見通しが持ちやすくなっております。毎時間、「ほけんのはこ」という発展的なトピックが掲載され、児童がさらに学びを深めていけるよう工夫されております。

教育長

○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。

(問)

スマートフォンや性の多様性については、保健での取扱いとなりますか。

(答)

スマートフォンやタブレットについては、5、6年生の心の健康の中で扱っております。性の多様性につきましても体の発育や発達がありますので、命の誕生の学習の中で扱っております。

(意見)

5、6年生の教科書には、インターネット、ゲーム、スマホ依存症等の記載がありますが、こういった現代的な課題が増えてきており、自分だけの克服は困難であり、また精神的な病気や不登校にも繋がる可能性があるため、重要視する必要があるかと思えます。

(意見)

インターネットやゲーム依存は6年生の最後で出てきますが、タブレットも各自持っており、家に帰ってもずっとゲームをしている子供もいるようです。心身ともに悪影響が出てくる可能性もありますので、むしろ早い段階で危険性等について教える必要があるかと思えます。

(意見)

スマホに関して、生活のリズムに影響を与えとの記載がありますが、睡眠、休息の大切さがあまり書かれていないように思えます。例えば、スポーツ選手においても上手く休息を取らないと良いパフォーマンスにつながらず、睡眠や休息は次の活動を上手くするために必要で、健康をコントロールする上での中心であることを記載すべきかと思えます。

(意見)

3、4年生の教科書の最初の方に、健康な1日や生活の仕方の中に睡眠の記載はありますが、もう少し睡眠の大切さを強調した方が自覚を促せると思えます。

(意見)

睡眠が一番大切ですが、3、4年生は寝ることが大事である認識があまりなく、寝ることがもったいないと思っています。睡眠不足により精神的な病気

の原因になる可能性もあるため、全ての悪影響の原因になることをもっと理解できるような教材にしてほしいと思います。

(意見) 眼科医が近視の話をする際に、授業の合間に遠くを見て目の毛様体筋を緩める、休めると伝えており、休めることは様々なことにとって重要であることを伝えてほしいと思います。

(問) 性の事件に巻き込まれることがあるが、3、4年生の性教育で教えている内容は、体の中で起こる変化や体の成長には個人差があるといった内容になりますか。

(答) 体の発育発達の中で教える内容は、体の中で起こる変化や体の成長には個人差があるといった内容になります。その中で初経といった言葉や異性への関心が芽生えてくる時期といった学びをしております。また、本市におきましては、今年度、性教育の指導の手引きを教育委員会、養護教諭、健康教育の担当者会で現場の意見を取り入れながら作成をし、来年度より、教科書と併用しながら活用していく予定でございます。これは、3、4年生、5、6年生だけではなく、幼稚園から小学校、中学校、市立高校までの授業を網羅した内容であるため、性教育の充実に努めていきたいと思っております。

教育長 ○ 他に御意見等はございませんか。それでは、採決に入ります。

[委員挙手]

[採決結果：大修館書店1名、光文書院2名、学研2名]

教育長 ○ 過半数に達する教科書がないため、再度協議になりますが、何か御意見はありますか。

(意見) 冊子的な見やすさは同程度ですが、2次元コードの中の見やすさは学研が良かったと思います。

(意見) インターネット、スマホ依存について、学研には記載が少ないです。光文書院が見やすかったと思います。

教育長 ○ それでは、再度採決をいたします。

[委員挙手]

[採決結果：大修館書店1名、光文書院2名、学研2名]

教育長 ○ 再度の採決でも過半数に達しないため、投票を行います。事務局から説明を行います。

(事務局)

- 投票とその後の表決について御説明いたします。
これより、各委員に1位を2点、2位を1点として投票していただきます。
その結果、より多くの点を得た上位2者を対象として、再度表決により決定いたします。投票の結果、同点になるなど上位2者が決まらない場合は、同点となったものを対象に、再度投票を行うこととします。なお、投票の対象となる全者が同点となった場合は、「地方教育行政の組織および運営に関する法律」第14条第4項の規定により候補者の内1者を教育長が定め、もう1者を再度の投票により決め、2者で表決を行います。また、2者めを決める投票において、全者同点となる場合は、2者めを教育長が定め、2者で表決を行います。事務局から投票用紙をお配りしますので、教科書会社名の横の1位と2位の欄に、それぞれひとつずつ○をお願いいたします。なお、開票は事務局が行いますが、教育長が指名する委員の方に結果の確認をお願いしたいと思います。

[投票・開票 (角谷委員確認)]

(事務局)

- 投票結果を発表いたします。
大修館書店6点、光文書院3点、学研6点、となりましたので、大修館書店と学研の2者について、表決をお願いいたします。

教育長

- それでは採決をいたします。

[委員挙手]

[採決結果：大修館書店2名、学研3名]

教育長

- 学研が3名で過半数のため、保健は学研を採択いたします。

教育長

- 次の外国語については、学習者用デジタル教科書も併せて見たいと思いますので、事務局、準備をお願いします。

教育長

- 外国語の採択を行います。報告をお願いします。

(事務局)

- (学校教育部長 外国語について説明)
外国語は、東京書籍、開隆堂、光村図書、啓林館の4者を推薦いたします。
英語は「読む」「書く」「聞く」「話す」の4つの技能に加え、「話す」はさらに「やりとり」「発表」の2つの領域を加え5領域が設定されています。
4者とも、これら4技能5領域の活動をバランスよく配置し、段階的に学べる構成になっております。
東京書籍は、場面や目的、目標やねらいがわかりやすく明示されています。

また、その部分について学習者用デジタル教科書では、モデルとなるやり取りが確認できるようになっており、児童は学習の見通しを持ちやすくなっており、「話す」ための情報をまとめたり、活動で表現したものを文字であらわしたり、というような「書くこと」のスペースが確保されております。

開隆堂は、各ページにめあてが明確に示され、見通しを持って学習活動に取り組める構成になっております。音声に十分に慣れ親しんでから、アウトプットする力を養う活動につなげる、構成になっております。また、相手と伝え合う力を育む言語活動が随所に盛り込まれております。QRコードから、その lesson のさまざまなコンテンツにアクセスできるようになっております。

光村図書は、各ユニットのはじめの見開きに、ねらいが示され、段階的に学習を進めることができるようになっております。各ユニットで重点化する領域がアイコンで示され、学期ごとにバランスよく5領域が学習できるように配慮されております。学習者用デジタル教科書には参考動画があり、児童がゴールイメージを持ち、主体的に取り組むための内容が充実しております。

啓林館は、学習を進める中で、自らの達成度をチェックできるようになっております。各所に設けられた豊富なQRコンテンツによって音声を活用した個別学習のサポートが充実しています。各Stepに言語活動の機会が設けられ、「考える、分かる、使ってみる」を繰り返しながら、できることを増やす構成になっております。

教育長

○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。

(問)

「読む、書く」と「聞く、話す」のどちらにウエイトを置かれていますか。

(答)

小学校では、「聞く、話す」をメインにしております。

(問)

デジタル教科書のコンテンツは非常に重要かと思えます。画面構成はスマホとタブレットで異なりますか。基本はタブレットを軸に見ることになりますか。

(答)

その通りです。

(問)

これは、学習者用のデジタル教科書ですか。教師用のデジタル教科書もありますか。

(答)

そうです。別に教師用があります。

(問)

教師用は大画面に映して、一斉に見るのですか。学習者用は個別に見ることになりますか。

(答) そういったイメージになります。

(問) 学習者用のデジタル教科書は、教室の中でそれぞれが使いますか。家庭での使用がメインとなりますか。

(答) 両方でございます。学校でも家庭学習でも使います。

(問) 音声が出ると音が重なり使えないと思いますが、いかがですか。

(答) 中学校ではイヤホンを使っており、小学校でも同様になります。

(問) イヤホンは、どのように準備しますか。

(答) 中学校では個人で購入しており、小学校でも同様になると考えられます。

(問) 東京書籍においては、書く部分が多いですが単語を書くのか、何をするかのイメージがあまり湧きませんでした。

(答) 自分の好きな物などを書くことになります。見て書き写す活動になります。

(問) 単語のみ別冊になっており、教科書を見ると新しい単語がどんどん出てくると思いますが、日本語の意味は載せないのですか。

(答) 小学校では、言葉や英語に慣れ親しむことが大切になります。そのため、書くことは、見て書き写すことになり、覚えて書くことは求められていません。

(問) 基本は、別冊の単語の一覧では、日本語ではなく絵を見て意味を覚えていくイメージになりますか。

(答) そういった形で英語に興味、関心を持っていくことが小学校での内容になります。

(問) 意味より慣れ親しむことになりますか。

(答) 小学校では、そうなります。

教育長 ○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。

[委員挙手]

[採決結果：東京書籍2名、開隆堂0名、光村図書3名、啓林館0名]

- 教育長 ○ 光村図書が3名で過半数のため、外国語は光村図書を採択いたします。
- 教育長 ○ 次に、道徳について報告をお願いします。
- (事務局) ○ (学校教育部長 道徳について説明)
- 道徳は、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3者を推薦いたします。
- 3者とも、今日的な課題である「いじめ問題」「防災」「情報モラル」「ジェンダー」に加え、兵庫県の内容を含んだ教材が取り入れられております。
- また、対話を重視した問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習ができるように、各学年で発達段階に応じた教材が配置されております。
- 東京書籍は、教材を通して心情を考えた後、自分のこととして考えることができる構成になっております。各学期に児童が学習を振り返って思いを書き込むページがあり、道徳的価値について振り返ることができます。巻末には心のメーターや思考ツールがあり、話し合い活動で活用しやすくなっております。また、他教科等との関連が顕著です。デジタルコンテンツについては、朗読やスライド、デジタルノート等が充実しております。
- 教育出版は、教材の学びをもとに、自分のこととして捉え、これからの生活にどのように生かせるかを考えることができる構成になっております。巻末には、心に残った教材や、1年間の学習を振り返るページがあります。デジタルコンテンツについては、「学びリンク」として教材の解説や関連資料が紹介されております。
- 日本文教出版は、1つの内容項目を系統的に配置して、学年を追ってより深く考えることができる配慮があります。別冊の道徳ノートでは、教員が児童の実態に合わせて発問を設定して使用することができます。デジタルコンテンツについては、朗読やデジタルワークシート、心情メーター等の思考ツールの充実に加え、ひとつのQRコードから全てのコンテンツを使用することができます。
- 教育長 ○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。
- (問) それぞれの教科書は、前から順番に使いますか。使いたい課題を飛ばし飛ばし使いますか。
- (答) クラスごとで変わることはありませんが、学年、学校ごとで変わります。
- (問) 掲載されている話は、1年間で全て使いますか。抜粋し、7割程度になりますか。
- (答) どの学年も1年間で35時間になりますので、配分を変える箇所はありますが、全てを行います。

- (問) 日本文教出版は、学年ごとにノートがあり6年間の成長を確認することができるかと思いますが、東京書籍や教育出版を使う場合は、道徳ノートは別で用意されて授業をされるのですか。または、各自がフリーのノートを用意するのですか。
- (答) 現在、日本文教出版を使用しており、道徳ノートを使用していますが、以前はワークシートを使用していました。
- (問) 先生によりワークシートを使う場合や別のノートを使うなど幅がある状態でしたか。
- (答) そのような現状でした。
- (問) 日本文教出版には道徳ノートがあり、学習の跡が残り振り返ることができ、また教師が評価する場合にも使いやすいかと思います。日本文教出版のデジタルコンテンツにデジタルワークシートがありますが、これはどのようなものですか。
- (答) 同じような内容で、プリント扱いになります。
- 教育長 ○ それでは、他に意見等もないようですので、採決をいたします。
- 〔 委員挙手 〕
- 〔採決結果：東京書籍0名、教育出版0名、日本文教出版5名〕
- 教育長 ○ 全員が日本文教出版のため道徳は日本文教出版を採択いたします。
- 教育長 ○ これで、令和6年度使用小学校用教科用図書についての採択が終わりました。ここで、一旦休憩の時間を取ります。休憩後の開始時刻17時10分とします。
- 教育長 ○ それでは、審議を再開します。中学校についての説明を、事務局お願いします。
- (事務局) ○ (学校指導課長 説明)
- 中学校用教科用図書につきましては、令和2年度に採択替えを行っております。「姫路市立学校用教科用図書採択方針」にあります「1採択に関する基本方針(7)」により、中学校における令和6年度使用教科書は、現在使用している教科書と同一のものを採択するとなっております。
- 教育長 ○ それでは、令和6年度使用の中学校用教科用図書は、現在使用しているも

のを引き続き採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(委員)

[挙 手]

教育長

○ 全員賛成と認め、原案どおり採択することといたします。引き続き一般図書についての説明を、事務局をお願いします。

(事務局)

○ この後審議していただく、各学校から申請のあった一般図書、文部科学省著作教科書、拡大教科書の一部を並べております。あわせて各高等学校が新たに使用したい教科書を並べておりますので、御覧いただく時間をとっていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

教育長

○ 事務局からの提案があったように、前に置いてある一般図書と高校の教科書を見る時間をとりたいと思います。

[図書を閲覧]

教育長

○ それでは、事務局から続きの説明をお願いします。

(事務局)

○ (総合教育センター所長 説明)

はじめに、令和6年度使用文部科学省著作教科書について説明します。この教科書は、名前のおり、文部科学省が代表著作者です。この教科書は、特別支援学校及び特別支援学級に在籍する児童生徒が使用することができる教科書になっており、毎年採択を行う必要があります。令和5年度は、小・中学校で、37冊を使用しています。これらが使用できますように採択をお願いします。

教育長

○ 各委員の方、御意見、御質問はございませんか。

教育長

○ 文部科学省の著作本であり、各教科1種しかないので、原案どおり採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(委員)

[挙 手]

教育長

○ 全員賛成と認め、原案どおり採択することといたします。

教育長

○ 引き続き、事務局からお願いします。

(事務局)

○ (総合教育センター所長 説明)

次に、各学校から申請のあった学校教育法附則第9条による一般図書について、審議をお願いいたします。特別支援学級設置学校長及び書写養護学校

長からの申請書を一覧にしたものです。

選定につきましては、保護者の意見を参考にして、各学校で学級担任、特別支援コーディネーターの教員が児童生徒一人一人の障害の程度に合わせて検討し、校長が申請しております。

教育長 ○ 各委員の方、御意見、御質問はございませんか。

教育長 ○ 各校で、一人一人の障害の程度に合わせて選定しているということであり、申請どおり採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(委員) [挙手]

教育長 ○ 全員賛成と認め、原案どおり採択することといたします。引き続き、事務局から説明をお願いします。

(事務局) ○ (総合教育センター所長 説明)
令和6年度使用検定教科書の「拡大教科書、点字教科書」の給与につきまして、先ほど採択されました全ての小、中学校用教科書について拡大教科書と点字教科書の採択をお願いいたします。

この種の教科書については、必要とする児童生徒が、いつ姫路市の学校へ転入してきても対応できますように、また、姫路市の児童生徒が、そのような本を必要とした場合にも速やかに対応できますように、全ての学年において使用できるよう採択をお願いいたします。

教育長 ○ 各委員の方、御意見、御質問はございませんか。

(問) 現在、点字教科書や拡大教科書を使用している児童生徒はいますか。

(答) 点字教科書につきましてはおりませんが、拡大教科書につきましては4名が使用しております。

(問) 対象者の人数分+αをストックされていますか。それとも手配をすればすぐに調達できる状態ですか。

(答) 採択後に必要に応じて、必要が生じたときに発注する形になります。

教育長 ○ それでは、他に御意見等がありませんので、事務局の原案どおり採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(委員) [挙手]

- 教育長 ○ 全員賛成と認め、原案どおり採択することとします。
- 教育長 ○ 引き続き事務局から高等学校の教科書について説明をお願いします。
- (事務局) ○ (学校指導課長 説明)
最後に、市立高等学校及び書写養護学校高等部の教科書採択について説明いたします。
高等学校につきましては、各学校が科目ごとに文部科学省検定済教科書について、調査研究資料を作成し、その資料を基に、校内で組織した選定委員会で協議・検討し、選定した教科書を教育委員会へ申請する形をとっております。
各校とも、新たに採択したい教科書を含め、令和6年度に使用したい教科書を記載しています。令和4・5年度から引き続き使用する教科書については、学校ごとに、「以下、継続使用で需要票第1表対象外のもの」という欄に記載しています。
新たに採択したい教科書は、姫路高校8冊、琴丘高校10冊、飾磨高校13冊、書写養護学校は0冊となっており、選定理由の欄に黒い丸印(●)を付しております。すべて、学習指導要領に基づいた検定本からの選定となります。
以上、市立高等学校及び書写養護学校高等部の教科書の採択についてご審議をお願いいたします。
- 教育長 ○ 各委員の方、御意見、御質問はございませんか。
- 教育長 ○ 各学校で、科目ごとにしっかりと調査研究し、各学校の生徒にあったものが選定されておりますので、申請どおり採択することに賛成の方は挙手をお願いします。
- (委員) [挙 手]
- 教育長 ○ 全員賛成と認め、申請どおり採択することといたします。
以上で、教科書の採択はすべて終了しました。
- 教育長 ○ 事務局から、何か報告、連絡事項はありませんか。
- (事務局) 資料1～3につきましては、教育委員会終了後回収いたしますので机上においたままをお願いします。
- 教育長 ○ それでは、日程第4 その他に入りたいと思います。
○ 事務局から、何か報告、連絡事項はありませんか。

(事務局)

[特になし]

教育長

○ 以上で本日の議事日程は全て終了いたしましたので、本日の会議を閉会いたします。

○ 散 会 (午後 5 時 2 7 分)